



「スポーツ・健康まちづくり」優良自治体表彰

(スポーツ×地方創生、まちづくりプロジェクト！)

「スポーツ・健康まちづくり」優良自治体表彰制度

東京 2020 大会等の後も、そのレガシーとして、全国を先導するような優良な「スポーツ・健康まちづくり」に国の事業（※）も活用して今後取り組もうとしている自治体のアイデアを表彰するとともに、積極的に広く全国へアピールし、スポーツを活用した特色あるまちづくりの全国展開を推進。

※採択済みの予算事業、認定済みの地域再生計画に基づく特別措置

表彰審査を通った自治体は、

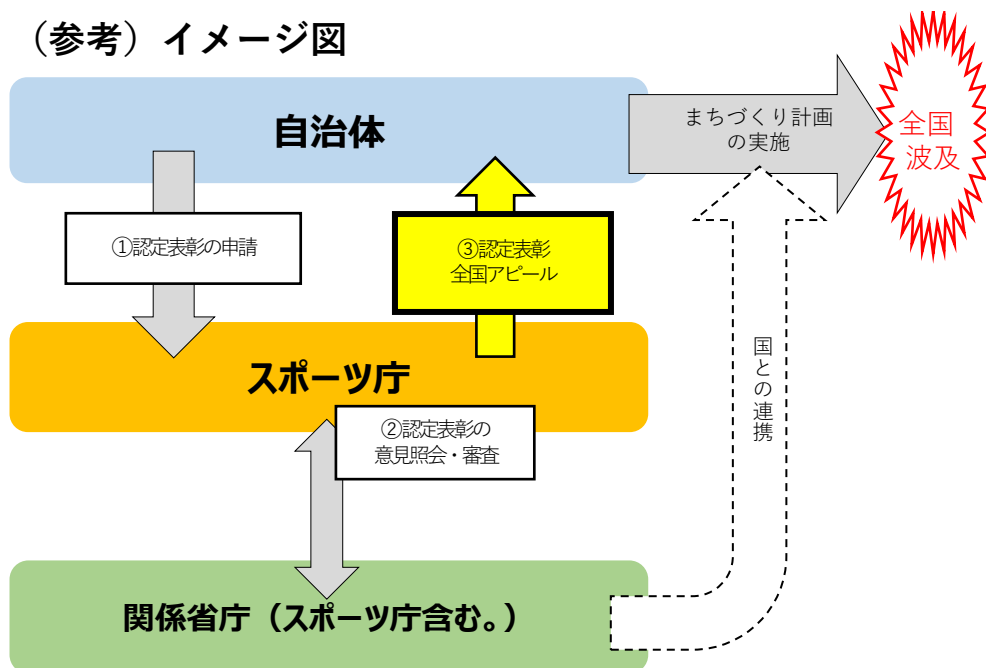
- (1) **室伏スポーツ庁長官**から**表彰式**において**直接に**表彰授与
- (2) スポーツ庁が**様々な媒体**で積極的に**広く全国に**アピール



※ 仕組みやスケジュールの詳細は、スポーツ庁のHPを御覧ください。
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/list/detail/1384512_00002.htm



(参考) イメージ図





令和3年7月15日

募集を開始！「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰 2021」

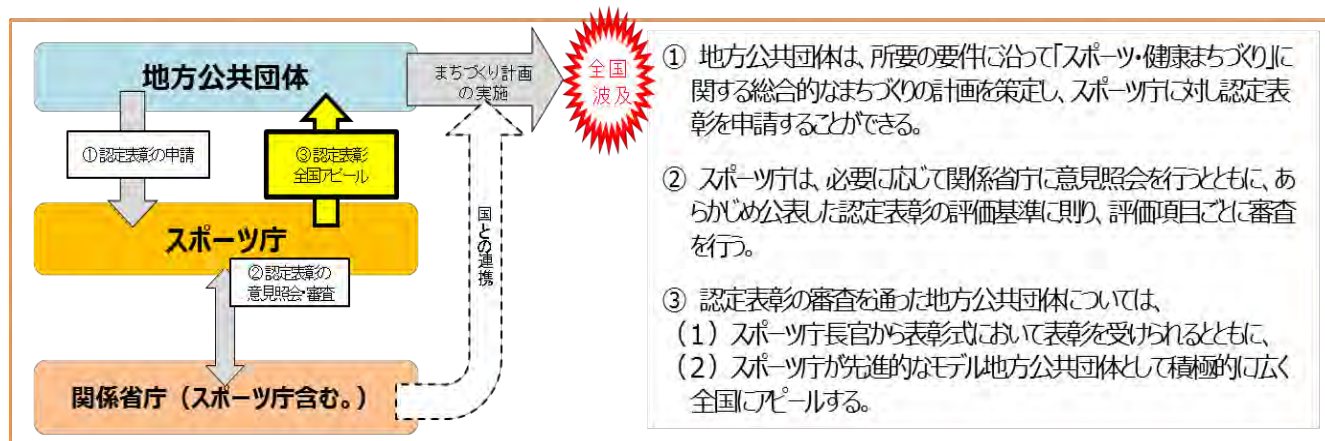
- 東京 2020 大会を切っ掛けに、「オリパラ・レガシー」として、スポーツを活用した「地方創生、まちづくり」に積極的に取り組もうとする自治体を表彰し、全国に広く知っていただくための制度を本年1月に創設。
- 本日15日（木）から、第1回目の表彰について、募集を開始。

東京 2020 大会等を切っ掛けとした日本中でのスポーツへの関心の高まりを、単に一過性のものとすることなく、「オリパラ・レガシー」として、全国各地域で、スポーツを活用した「地方創生、まちづくり」（「スポーツ・健康まちづくり」）へと転化させ、大会終了後も将来にわたって継続・定着させることが重要です。このため、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和元年12月20日閣議決定）において、各自治体のそうした取組を、関係省庁一丸で推進していくこととされています。

そこでスポーツ庁では、本年1月に、東京 2020 大会を切っ掛けとしてスポーツを活用した「地方創生、まちづくり」に積極的に取り組もうとする自治体を応援するため、「スポーツ・健康まちづくり」優良自治体表彰制度を創設したところです。

第1回目の表彰について、本日15日（木）から、募集を開始しました。

なお、本年12月予定の表彰式典では、受賞自治体の首長に対し、室伏スポーツ庁長官が表彰状をお渡します。



スポーツ×地方創生 まちづくり

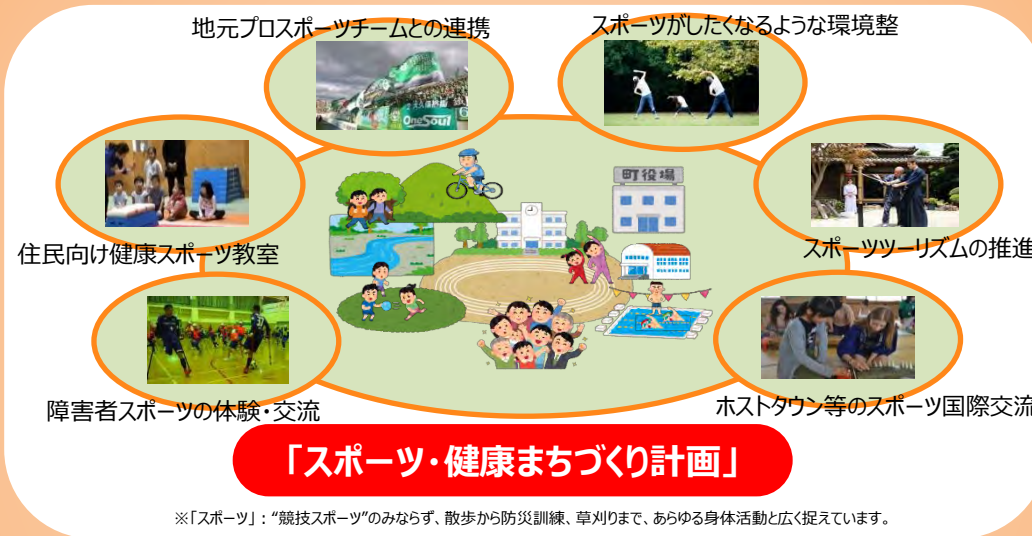


プロジェクト始動!!

～ 全国の自治体のアイデアを募集します！ ～

「オリパラ・レガシー」として、今後、スポーツを活用した特色ある「まちづくり」に積極的に取り組もうとする自治体を応援するため、「**スポーツ・健康まちづくり**」優良自治体表彰制度を創設。

記念すべき第1回での表彰を目指して、ぜひ、ご応募ください。



スポーツのチカラを活用し、地域の様々な社会課題（少子高齢化、住民健康、過疎化、経済衰退など）の解決を図る、自治体の皆さまのアイデア、今後の総合的なまちづくり計画をお待ちしています。

創意あふれる皆様のご応募、楽しみにお待ちしております。
12月の表彰式典※でお会いしましょう！



スポーツ庁長官 室伏 広治

※表彰式典に御参加いただいた首長様に対しては、室伏スポーツ庁長官が表彰状をお渡しします。詳細はこちら

【募集スケジュール（令和3年度）】

- ◆募集期間：7月15日(木)～9月30日(水)
- ◆表彰式典：12月中旬～下旬



【問合せ先】

スポーツ庁参事官（地域振興担当）付
Mail: stiiki@mext.go.jp
TEL: 03-6734-3931（直通）

スポーツ×地方創生、まちづくりプロジェクト始動！！

スポーツのチカラを活用し、地域の様々な社会課題（少子高齢化、住民健康、過疎化、経済衰退など）の解決を図ることを目的とした各自治体のアイデアや今後の総合的なまちづくり計画を審査し、30自治体を優良自治体として表彰しました。

スポまち！長官表彰2021 ～スポーツのチカラでまちづくり～



★スポまち！長官表彰2021

日時：令和3年12月14日（火）13:00～16:50

会場：浅草橋ヒューリックホール

出席者：室伏スポーツ庁長官、受賞自治体の首長29名（受賞自治体30団体中）

特別ゲストとして道下美里氏、武井壮氏



満員御礼！

プログラム：①室伏長官オープニング挨拶

②トークセッション

「スポーツ×地域の未来！」

東京2020パラリンピック金メダリスト（三井住友海上火災保険株式会社）道下美里 女史、公益社団法人日本フェンシング協会会長 武井壮 氏を特別ゲストに迎え、室伏スポーツ庁長官とのトークセッションを実施

③フォトセッション

④優良自治体表彰（第1部）

表彰状授与・個別記念撮影

⑤優良自治体表彰（第2部）

受賞取組紹介・受賞自治体首長コメント

⑥スポまち！ピックアップ

室伏スポーツ庁長官が訪問させていただく自治体を抽選により決めるお楽しみイベントを実施
北見市が選ばれました（北見市へは今後調整の上、ご訪問することをお約束）。



※上記プログラムのほか、長官との名刺交換・懇話や、受賞自治体首長間の意見交換等も行いました。

【参考】多くのメディアで取り上げられました！



全国メディア

■NHK スポーツを生かした特色あるまちづくり 30自治体を国が表彰
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20211214/k10013388121000.html>



■毎日新聞 パラマラソン金の道下美里さんらトークショー スポーツ自治体表彰式
<https://mainichi.jp/articles/20211214/k00/00m/050/207000c>

■読売新聞 スポーツによる街づくりに熱心な自治体
<https://www.yomiuri.co.jp/sports/para-sports/>

■月刊事業構想 スポーツの力を活かしまちづくりを行う優良自治体を表彰
<https://www.projectdesign.jp/articles/news/879a56f0-5696-4be3-bca4-3356db6290b9>

■フジテレビ 地方創生につなげる「スポまち」
<https://www.fnn.jp/articles/-/293006>



全国の地方メディア・全国メディア地方版

■室蘭民報 北海道壮瞥町
壮瞥町、喜びの表彰 スポーツ健康まちづくり優良自治体
<https://www.muromin.jp/news.php?id=46515>

■読売新聞(茨城版) 茨城県笠間市、つくば市、境町 スポーツ庁3市町表彰
■NHK(茨城NEWS WEB) 笠間市、つくば市、境町
スポーツまちづくり表彰に 笠間 つくば 境町の3市町
<https://www3.nhk.or.jp/lnews/mito/20211216/1070015397.html>

■茨城新聞 茨城県笠間市、つくば市、境町
つくば、笠間、境を表彰 スポーツ通じ地域振興
https://ibarakinews.jp/news/newsdetail.php?f_jun=16394884437533

■毎日新聞 栃木県矢板市
「優良自治体表彰」県内から矢板市受賞 「未来体育館」拠点の地域計画評価
<https://mainichi.jp/articles/20211219/ddl/k09/010/057000c>

■とちぎテレビ 栃木県矢板市
矢板市が優良自治体としてスポーツ庁から表彰 スポーツ・健康まちづくり
<https://news.yahoo.co.jp/articles/1f8af74fdce4d16a7d48e912246c7e31657acb67>

■NHK(静岡NEWS WEB) スポーツによる街づくりに熱心な自治体
スポーツ活用のまちづくり 沼津市など県内4市が表彰受ける
<https://www3.nhk.or.jp/lnews/shizuoka/20211214/3030014321.html>

■静岡新聞 静岡県沼津市、御殿場市、裾野市、御前崎市
沼津、御殿場、裾野、御前崎 健康まちづくりでスポーツ庁表彰
<https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/999859.html>

■中日新聞 静岡県御前崎市
スポーツ庁が御前崎市を表彰 まちづくり高評価
<https://www.chunichi.co.jp/article/384408>

スポ庁広報

PRTIMES
<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000003.000090546.html>
HP
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/list/detail/138451_2_00003.html



Facebook
<https://www.facebook.com/japansportsagency/posts/2875502569407555>
Twitter
https://twitter.com/sports_JSA/status/1470691602419294208
Instagram
https://www.instagram.com/p/CXdcbl6vRs/?utm_source=ig_web_copy_link

※ 長官個人のInstagram
https://www.instagram.com/p/CXdcbl6vRs/?utm_medium=copy_link

■NHK(石川NEWS WEB) 石川県かほく市
スポまち！長官表彰 全国30自治体表彰にかほく市が選ばれる
<https://www3.nhk.or.jp/lnews/kanazawa/20211214/3020010080.html>

■北鹿新聞社 秋田県大館市
大館市に優良自治体表彰 「賑わいと交流生む」に評価
http://www.hokuroku.co.jp/smarts/index/51/detail=1/b_id=904/r_id=5074/

■NHK(富山NEWS WEB) 富山県富山市、滑川市
スポーツ生かしたまちづくり 富山市と滑川市が表彰受ける
<https://www3.nhk.or.jp/lnews/toyama/20211214/3060009239.html>

■NHK(富山NEWS WEB) 富山県富山市
スポーツ生かしたまちづくり 富山市の「とほ活」
<https://www3.nhk.or.jp/lnews/toyama/20211214/3060009240.html>

■中日新聞 富山県富山市
「とほ活」スポーツ庁が表彰 健康まちづくり推進で
<https://www.chunichi.co.jp/article/383700>

■沖縄タイムス 沖縄県、沖縄県沖縄市
県の空手振興・沖縄市アリーナ活用 スポーツのまちで表彰
<https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/879442>

■琉球新報 沖縄県、沖縄県沖縄市
全国で沖縄だけ！空手で地域振興、スポーツ庁が県を表彰、沖縄市も
<https://ryukyushimpo.jp/news/entry-1441862.html>

その他多数のメディアで取り上げられました！



室伏長官オープニング挨拶



表彰式



フォトセッション
(受賞30自治体のうち29自治体の首長さまが
式典に参加)



トークセッション



首長さま控室にて



首長さまと
名刺交換・意見交換



スポまち！ピックアップ
(長官が後日訪問させていただく先
を抽選)



首長さま喜びの声



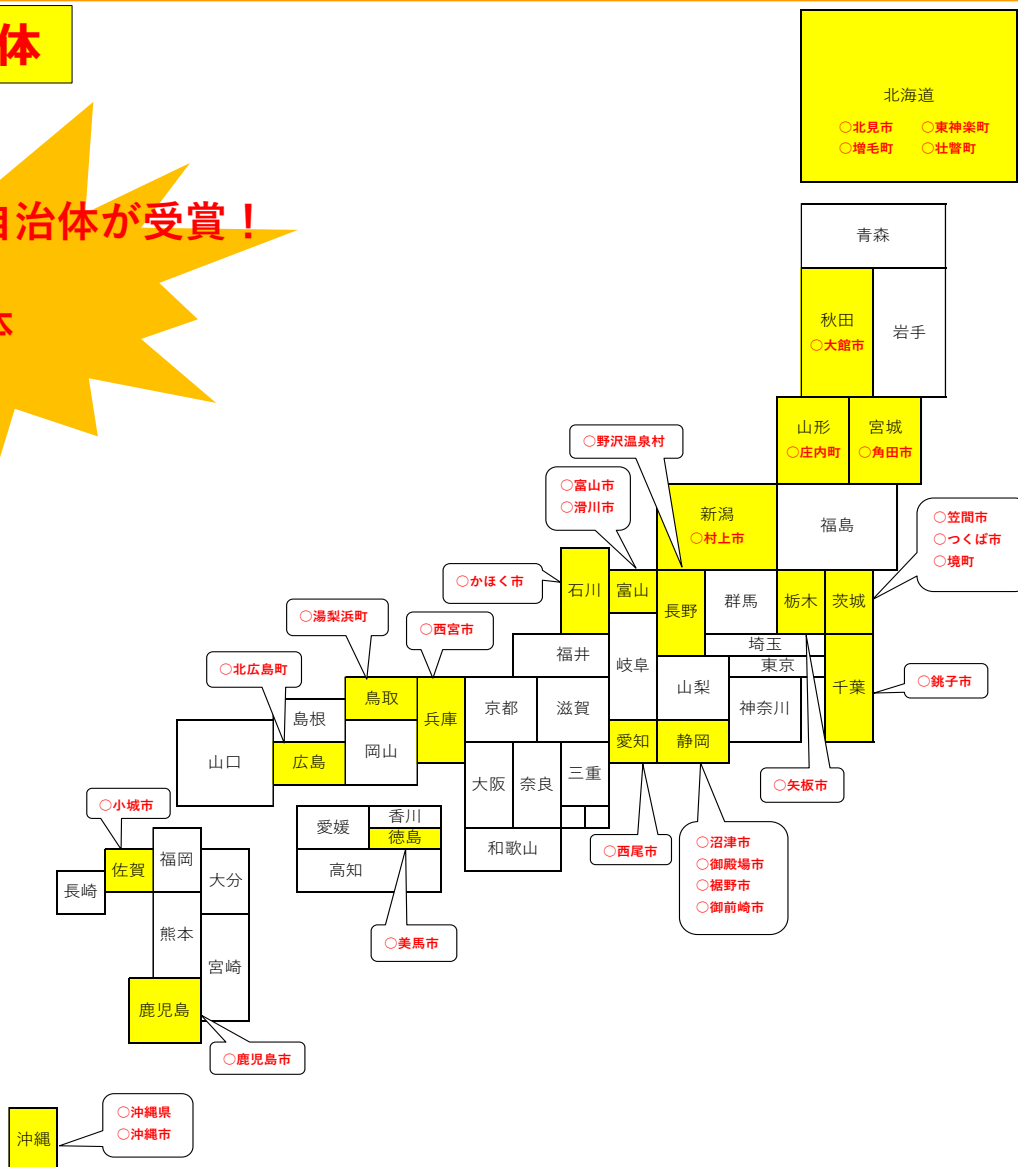
満員御礼！
全国各地から約30社の
メディアが参加

当選自治体は北海道北見市！
会場では歓声の音があがりました！！

20道県30自治体

全国から30自治体が受賞!

- ・ 県：1 団体
- ・ 市：21 団体
- ・ 町：7 団体
- ・ 村：1 団体



受賞全自治体の取組概要!

【受賞自治体 取組名称】



[受賞全自治体の取組概要！](#)

- ◆北海道
 - 北見市 「Curling City Kitami魅力向上プロジェクト」
 - 東神楽町 「東神楽町健康食育タウン事業(東神楽流からだの『見える化』計測中。)」
 - 増毛町 「増毛町スポーツ・健康まちづくりプロジェクト(生涯現役で働き続けられる町を目指す健康寿命延伸事業)」
 - 壮瞥町 「スポーツでチャレンジ！スポーツによる持続可能なまちづくり」
- ◆宮城県
 - 角田市 「Kスポ(総合スポーツ施設)と道の駅かくだを核としたスポーツによるまちづくり」
- ◆秋田県
 - 大館市 「観光とスポーツによる賑わいと交流を生むまちづくり」
- ◆山形県
 - 庄内町 「スポーツ合宿等による地域活性化、健康と生きがいをつくる生涯スポーツの推進」
- ◆茨城県
 - 笠間市 「笠間市スケートボードの聖地プロジェクト」
 - つくば市 「廃校への自転車拠点・ジオパーク中核拠点整備による地域振興プロジェクト」
 - 境町 「世界レベルのスポーツ施設等を活用した茨城県境町のまちづくり」
- ◆栃木県
 - 矢板市 「未来技術を活用した健康&スポーツの飛躍的レベルupプロジェクト」
- ◆千葉県
 - 銚子市 「銚子市しごと・ひと・まち創生推進計画<スポーツツーリズムの促進>」
- ◆新潟県
 - 村上市 「スケートボードの聖地「むらかみ」セカンドプロジェクト」
- ◆富山県
 - 富山市 「SDGsの実現に向けた歩くライフスタイルの推進「とほ活」プロジェクト」
 - 滑川市 「「雪国ハンデを乗り越えろ」滑川市屋内運動場(KENKO DOME)活用推進プロジェクト」
- ◆石川県
 - かほく市 「「あそびの森かほくくる」でみんな元気！～かほく市こども屋内運動施設の整備～」
- ◆長野県
 - 野沢温泉村 「マウンテンスポーツを通じた村民社会形成プロジェクト」
- ◆静岡県
 - 沼津市 「フェンシングで地域に活力を！～「フェンシングのまち沼津」ブランディング事業～」
 - 御殿場市 「東京2020大会ロードレース会場のレガシーを活用したまちづくり」
 - 裾野市 「富士の麓で頂点を目指す！スポーツ応援プロジェクト～準高地トレーニングができるまち～」
 - 御前崎市 「御前崎スポーツ振興プロジェクト～ワンストップでスポーツ合宿をトータルサポート～」
- ◆愛知県
 - 西尾市 「スポーツを核とした健康まちづくりプロジェクト(市民の健康づくりをお手伝い)」
- ◆兵庫県
 - 西宮市 「地域スポーツ資源を生かしたビジネスの振興～スポーツを核とした甲子園エリア活性化計画～」
- ◆鳥取県
 - 湯梨浜町 「グラウンド・ゴルフとウオーキングによる友情と健康の輪の拡大プロジェクト」
- ◆広島県
 - 北広島町 「全町民参加型「きたひろスポーツ」推進プロジェクト」
- ◆徳島県
 - 美馬市 「「美と健康」のまちづくりプロジェクト(美馬市版SIB)」
- ◆佐賀県
 - 小城市 「アイル資源磨きプロジェクト」
- ◆鹿児島県
 - 鹿児島市 「鹿児島ユナイテッドFCTレーニング施設活用地域活性化プロジェクト」
- ◆沖縄県
 - 沖縄県 「空手が沖縄経済を成長させる新エンジンに(沖縄空手振興ビジョンロードマップ)」
 - 沖縄市 「沖縄市スポーツコンベンションシティ3.0加速化プロジェクト」

別冊

(2021受賞自治体の取組概要)

1 Curling City Kitami魅力向上プロジェクト

【問合せ先・電話番号】

北海道北見市社会教育部スポーツ課

<目標分野> ※該当するものに全て印

<目標内容>

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換

当市の認知度向上と国内外からの長期滞在型の合宿誘致等による交流人口拡大を図り、地域全体の「稼ぐ力」を高め、もたらされる宿泊業や飲食サービス業など合宿関連産業への経済波及効果を雇用創出につなげることを目的とする。【数値目標：年間利用者数 10,000人】

<PRポイント>

- ① 一生、カーリング宣言！……**唯一無二の施設である**アルゴグラフィックス北見
カーリングホールを使用し、カーリングが楽しめるよう貢献する
- ② 競技力向上支援システム…**世界初**の支援システムの活用を含めたスポーツ合宿誘致を
展開し、交流人口の拡大を図る



<概要> 計画期間：～令和6年3月31日

<現状・課題>

当市は北海道内の他地域と比べ全国的な認知度が低く、スポーツ合宿を通じた市外からの交流人口拡大に取り組んでいるが、ラグビーや陸上などの夏季スポーツでは、当地域の冷涼な気候に優位性があり他地域との差別化が図られている一方で、スキーやカーリングなどの冬季スポーツでは、他地域との差別化の決め手に欠き冬期間の交流人口拡大の低迷が課題である。

<総合的な取組内容>

「地域資源カーリングを活用した知名度向上と交流人口拡大のための拠点整備プロジェクト」

地域ブランド力の向上

- 唯一1自治体で2つのカーリングホールがある北見市へ行ってみたいくなる
- 「**カーリングのまち**」のイメージを定着させ、他分野への経済波及効果を高める
- 体験型観光としてカーリングを取り入れ、また、市内にカーリングを感じられるモニュメント等を設置

生涯スポーツ振興による健康寿命の延伸

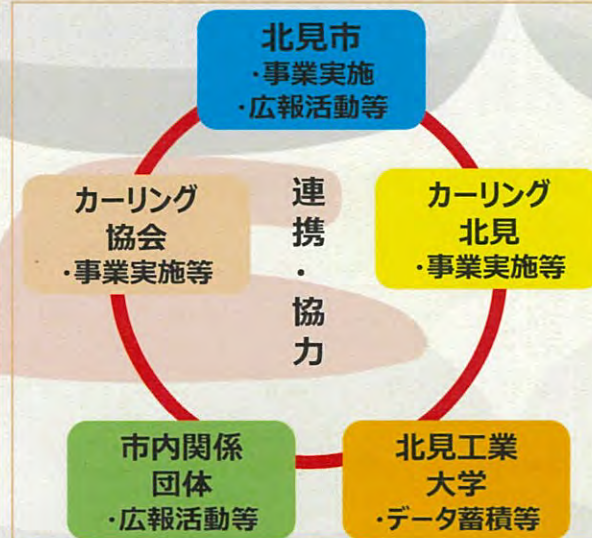
- 皆が楽しめるカーリングを定着させ、健康増進に貢献する

地元大学との連携強化

- 世界初の競技力向上支援システムは、地元大学の研究成果を実用化したものであり稼ぐ施設として有用性を証明する



<継続的な取組を確保できる体制（図）>



各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：
北見市教育委員会社会教育部スポーツ課
- 地方スポーツ推進計画：
第2期北見市スポーツ推進計画
- 地方版総合戦略：第2期北見市総合計画
- 地域スポーツコミッション：設置無し
- ホストタウンの相手先：エクアドル共和国



<市HP> <カーリングNavi> <カーリングサポート隊
インスタ>

【フォローアップ欄】 令和4年度以降における計画の進捗状況

2 東神楽町健康食育タウン事業(東神楽流からだの『見える化』計測中。)

【問合せ先・電話番号】0166-83-2111

北海道東神楽町健康ふくし課

<目標分野> ※該当するものに全て印

<目標内容>

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

歩数や体重、体脂肪率等の健康状態を見える化できるシステムを導入するほか、「無意識に楽しく、気づいたら健康になっていた」と思えるしくみづくりを進める。

【具体目標】 ○健康づくりに積極的に取り組む町民の割合 会員数/人口 3.0%→7.0%

○町民の野菜摂取量 220g→295g ○ICT技術を活用した「見える化」の強化

<PRポイント>

- ①【からだの見える化】…(株)タニタヘルスリンクとの連携。活動量計を活用した「歩く→測る→わかる→気づく→変わる→食べる→歩く」を体験。健康意識を高め、町民の健康状態を改善する。
- ②【健康の町化】…「町民の健康増進」を図るため、産・官・学一体となって取り組み、「健康のまち化」を進める。

<概要> 計画期間：～令和4年3月31日

<現状・課題>

東神楽町は、高齢化率が24.3%と低く、子どもの割合が多い(H27国調：年少人口率15.7%。北海道内1位)、若い世代の集まる町です。しかし、2040年には高齢化率40%を超えると予測されます。避けられない高齢化の中で、子どもから高齢者まで、思い思いのスポーツに関わり、まち全体が健康一色となるような仕組みづくりが求められています。

<総合的な取組内容>



「脂肪燃えるんピック」

運動等を行うことで、期間内に個人やチームで脂肪を燃やした量を競う。

「クリーンウォーク大作戦」

ゴミ拾いにより町の美化と歩数増による健康増進を図る。

食育の推進

健康食育コンシェルジュの活用や、野菜摂取量の可視化により、食育を推進。

「スポーツ能力測定会」

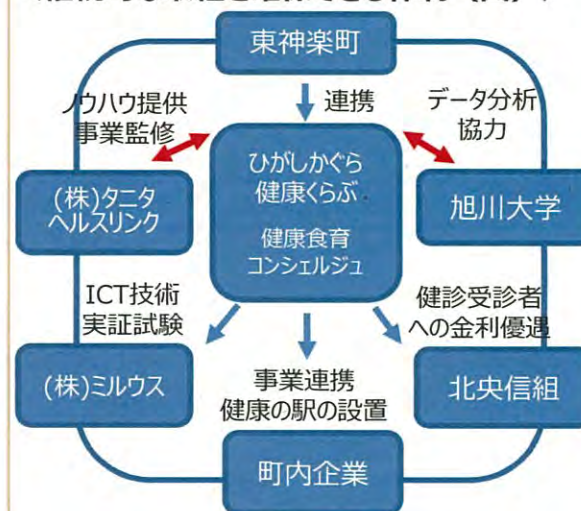
子どもたちの運動能力を測り、自分に合った競技を見つける。



『健康の町』を実現！



<継続的な取組を確保できる体制(図)>



町民の健康増進に取り組むべく「ひがしかぐら健康くらぶ」を設立。ICT技術を活用して健康状態を見える化し、仲間と一緒に楽しみながら、健康づくりにつながられるような取り組みを多数実践！

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：地域の元気づくり課
- 地方スポーツ推進計画：なし
- 地方版総合戦略：第2期東神楽町地方版総合戦略(令和2年3月策定)
- 地域スポーツコミッション：なし
- ホストタウンの相手先：なし
- その他：なし

【フォローアップ欄】令和4年度以降における計画の進捗状況

<目標分野> ※該当するものに全て○

<目標内容>

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換

「運動習慣の普及・定着」と「高血圧ゼロのまちプロジェクト」の両輪で健康寿命を延伸！

生涯現役で社会参加できる町を実現！

- ・運動習慣の定着でメタボ解消とフレイル予防 KPI：運動施設「らさんて」の利用者数3,600人(R2)→6,500人(R5)
- ・今活躍している人を病気から守り、人口減少でも活力を維持 KPI：65歳～74歳の介護認定率3.9%(R2)→3.0%(R5)

<PRポイント>

【入浴宿泊施設に運動施設「らさんて」の開設】…冬期間の運動不足解消や健康運動指導士による指導【「高血圧ゼロのまち」モデルタウン第1号】…日本高血圧学会の実証実験に参加し、高血圧対策を推進【高齢者がまちの労働力の担い手】…生涯現役で働き続けられる健康づくりにより、町の産業の衰退を防ぐ

<概要> 計画期間：令和2年4月1日～令和6年3月31日

<現状・課題>

- ・魚介類や果物が豊富な本町の食環境と、厳しい冬期間の自然環境による運動習慣の普及と定着の難しさにより、メタボ、フレイルの状態にある住民が、関節疾患、脳・心疾患を引き金に要介護状態となり、要介護認定率が国や北海道平均よりも高い状態にある。
- ・定年のない本町の産業の強みを活かすため、町民を病気で倒れさせず、就業やスポーツ、文化活動に参加し続けられる対策が必要。

<総合的な取組内容> 増毛町まちづくりプラン基本目標「元気で長生きできるまちづくり」

(具体的事業)・企業版ふるさと納税制度を活用し各事業を推進



運動施設・健康づくり教室・サポーター育成

運動施設「らさんて」の開設により、天候等に左右されない運動環境を整備。健康運動指導士や地域おこし協力隊、運動実施支援員「らさんてサポーター」らによる健康づくり教室の実施等により体を動かすという習慣の普及を図ります。



運動イベントの開催

住民が気軽に参加できるように歩数計を活用した「どこでも健康ましけウォーキング」を開催。日常のウォーキングの歩数を距離換算して、楽しく北海道一周を目指すことで、継続的な運動意欲を高め、心と体の健康増進を図ります。



ましけ健康ポイント事業

運動教室、スポーツイベントを始めとした健康寿命の延伸、介護予防の取り組みを推進する事業への参加にポイントを付与し、商工会商品券と引換。スポーツ事業等の参加と町内消費を促進します。

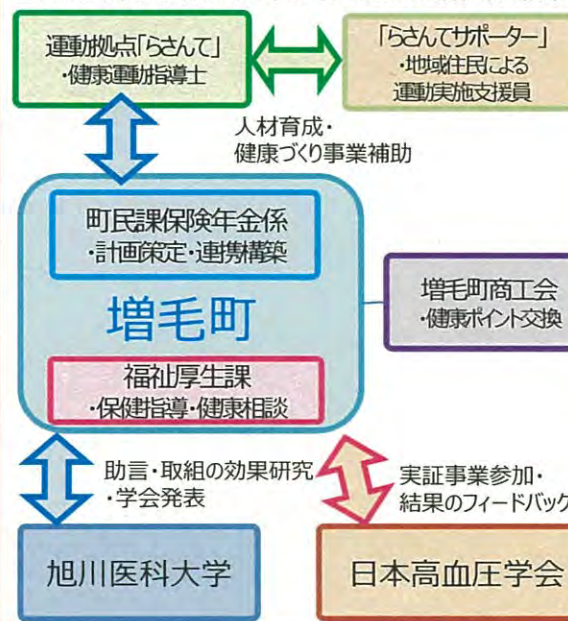


「高血圧ゼロのまち」プロジェクト

高血圧に起因する疾患による介護認定の割合が高く、治療者も降圧目標に達しない背景にメタボの可能性があることから、スポーツと高血圧対策の両輪で事業を進めます。

<継続的な取組を確保できる体制(図)>

○増毛町町民課保険年金係が中心となり、連携体制を構築



各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先 教育委員会地域学習課
- 地方スポーツ推進計画 増毛町社会教育推進計画(令和3年4月)
- 地方版総合戦略： 増毛町まちづくりプラン(令和2年3月)
- 地域スポーツコミッション：無
- ホストタウンの相手先：無



【増毛町HP】

【フォローアップ欄】令和4年度以降における計画の進捗状況

4 スポーツでチャレンジ！スポーツによる持続可能なまちづくり



【問合せ先・電話番号】

壮瞥町教育委員会生涯学習課 TEL0142-66-2131

<目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

<目標内容>

地域スポーツコミッションや総合型地域スポーツクラブと連携したスポーツによる“持続可能なまち”へのチャレンジ

ミッション 1 自然や施設など地域資源を最大限に活用したスポーツによる地域振興

ミッション 2 新たなツーリズム展開での活力ある地域づくり

<PRポイント>

- 豊かな自然や地域資源を有効活用した多様なスポーツ活動の推進
- 官民連携地域スポーツコミッションによるアウトドア推進と地域振興
- 総合型地域スポーツクラブと連携した「そうべつスタイル」の持続可能なスポーツ振興

<概要> 計画期間：～令和7年3月31日

<現状・課題>

- ・インバウンド、団体中心の観光から、スポーツ・アウトドアを活用したメニューや受入環境の構築
- ・少子高齢化によるスポーツ離れに対応した「そうべつスタイル」のスポーツによる活性化推進体制の構築

<総合的な取組内容> 第2期壮瞥町スポーツ推進計画「3つの柱」

<具体的な事業>

柱1 スポーツで人づくり

総合型地域スポーツクラブを核にした「そうべつスタイル」のスポーツ振興



柱2 スポーツで集う

地域スポーツコミッション・総合型地域スポーツクラブによるスポーツ交流



柱3 スポーツでまちづくり

地域スポーツコミッションによるアウトドア・スポーツツーリズムの推進



～スポーツで元気に持続するまちづくり～



<継続的な取組を確保できる体制（図）>

そうべつアウトドアネットワーク 事務局：壮瞥町

そうべつアウトドアネットワークが中心となり、関係機関と連携を図りながら事業を推進します。

そうべつ地遊スポーツクラブ

壮瞥果樹組合
YFC壮瞥

そうべつ観光協会
昭和新山国際雪合
戦実行委員会

壮瞥町体育協会
スポーツ少年団
近隣スポーツクラブ

教育関係
町内、近隣学校

関連する民間企業
ニセコ町観光協会との連携

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先
教育委員会生涯学習課
- 地方スポーツ推進計画：
第2期壮瞥町スポーツ推進計画
- 地方版総合戦略：
まち・ひと・しごと創生 第2期壮瞥町総合戦略
- 地域スポーツコミッション：
そうべつアウトドアネットワーク R3.2.24設立
- ホストタウンの相手先：フィンランド共和国

【フォローアップ欄】 令和4年度以降における計画の進捗状況

5 Kスポ（総合スポーツ施設）と道の駅かくだを核としたスポーツによるまちづくり

【問合せ先】 宮城県角田市教育委員会生涯学習課

TEL: 0224-63-2221

<目標分野> ※該当するものに全て✓

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化✓
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防✓
- ③ 自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換✓

<目標内容>

将来ビジョン：Kスポと道の駅かくだを核に「**明るく楽しく健康で活力あるまち**」の実現
目標 インナー施策：多くの人にスポーツを楽しんでもらう（スポーツ実施率 R 8 : 5 0 %）
 アウター施策：K スポと道の駅かくだの賑わい（道の駅かくだの売上げ R 8 : 244,000千円）



<PRポイント>

【「スポーツ×道の駅」⇒かくだ版スポーツツーリズムの推進】

総合スポーツ施設 K スポに道の駅が隣接する特徴を活かし、K スポの「スポーツ」と道の駅の「食」を通じて健康等をテーマに交流人口を拡大し、スポーツ実施率・道の駅の売上げ UP を目指す

【「スポーツ×○○」を市内全域へ波及 ⇒スポーツによるまちづくり】

スポーツを手段として地域課題を解決することで、スポーツによるまちづくりを展開する

<概要> 地域再生計画の期間：～令和4年3月31日

<現状・課題>

- ・Kスポ隣に道の駅かくだがオープン。オリパラムーブメントと相まってスポーツへの期待感の高まり
- ・スポーツ施設が老朽化し維持管理に費用がかかる一方、スポーツ事業での収益性が伴わない
- ・市内の子どもたちは肥満傾向児の割合が高く、スポーツを「する子」と「しない子」の2極化が進んでいる



<総合的な取組内容>

次をテーマに **K スポと道の駅が連携**《地方創生推進交付金活用》



■健康

- ・ウォーキングの拠点化（ステーション整備、観光ロゲイニング開催）
- ・特色ある健康相談（K スポの運動、道の駅の食材を紹介）
- ・運動×食×交流で介護予防（道の駅のフードコートを活用）



■子育て

- ・天然芝を活用した幼児用遊び場を整備
- 《企業版ふるさと納税活用》
- ・親子運動あそび教室を定期開催



■賑わい

- ・スポーツ大会・合宿を誘致（パラスポーツ、JFL公式戦等）
- ・アーバンスポーツ体験会を開催

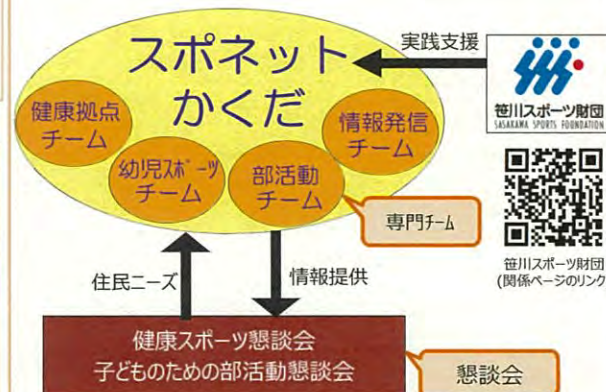


→さらに、「スポーツ×○○」を市内全体へ波及

- ：子育て… 運動あそびを通して元気な子を育てる「かくだ版アクティブ・チャイルド・プログラム《Sport in Life》の活用」を展開
- ：健康増進… 市民の健康づくりの日として「チャレンジデー」を開催
また、生涯スポーツにつながる地域部活動の構築を目指す

<継続的な取組を確保できる体制>

「スポネットかくだ」が課題や経営資源を共有し共同事業を推進（事務局：生涯学習課と総合型クラブ）



- スポネットかくだの構成団体…スボ協、スボ少、総合型クラブ、指定管理者、道の駅、仙台大学等と行政（健康長寿課、子育て支援課、教育総務課、生涯学習課）
- 地域の特色を活かしたまちづくりを行うしくみ…懇談会で住民ニーズを広く集め、専門チームでスピーディに課題解決

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先
教育委員会事務局 生涯学習課
- 地方スポーツ推進計画
角田市スポーツ推進計画 H31.3改定
- 地方版総合戦略
角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 R2.3改定
- 地域スポーツコミッション
スポネットかくだ R1.9 設置
- ホストタウン なし
(全日本女子車いすバスケット強化合宿支援)



【フォローアップ欄】 令和4年度以降における計画の進捗状況

削除しないでください。来年度以降の使用欄になります。

<目標分野> ※該当するものに全て ✓

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化 ✓
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防 ✓
- ③ 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換 ✓

<目標内容>

スポーツコミッション大館を「コア」とした 市民団体、企業、行政 の連携と協働による地域の活性化

- 【具体目標】
- ① スポーツツーリズムで新たな誘客 4千人を創出
 - ② スポーツ合宿誘致による地域経済の活性化 宿泊数 172泊 → 1,000泊
 - ③ スポーツインライフの推進とスポーツを通じた人々の交流 ポッチャ交流 50人 → 100人

<PRポイント>

◆アウトドアスポーツの推進と誘客

世界自然遺産「白神山地」東端「田代岳」のダム湖と林道・溪流を活用

◆スポーツイベント・スポーツ合宿の誘致

大館樹海ドーム・大館市樹海体育館・高館テニスコートの活用

◆スポーツインライフ・スポーツ交流の推進

スポーツを気軽に出来る環境を活かし、県内トップチームと連携して市民のスポーツ交流の場を提供



木造世界最大級
大館樹海ドーム

<概要> 計画期間：～令和7年3月31日

<現状・課題>

- ・大館市は北東北3県のほぼ中心に位置し、大型ドーム施設と国体開催実績がある体育館とテニスコートを有している。
- ・秋田県の人口減少率と比較しても人口減少が進行しており、2040年の市の人口は5万1,181人となる見込み。
- ・人口の減少が地域の利便性や産業に与える影響は大きく、交流人口拡大による地域の活力維持が必要とされる。

<総合的な取組内容> 第2期大館市総合戦略「観光とスポーツによる賑わいと交流を生むまちづくり」

【具体的な事業】

■アウトドアアクティビティの創出

世界自然遺産の東端に位置する大自然を生かし
スタンドアップパドル・E-BIKE等で誘客します。

■スポーツイベント・スポーツ合宿の誘致

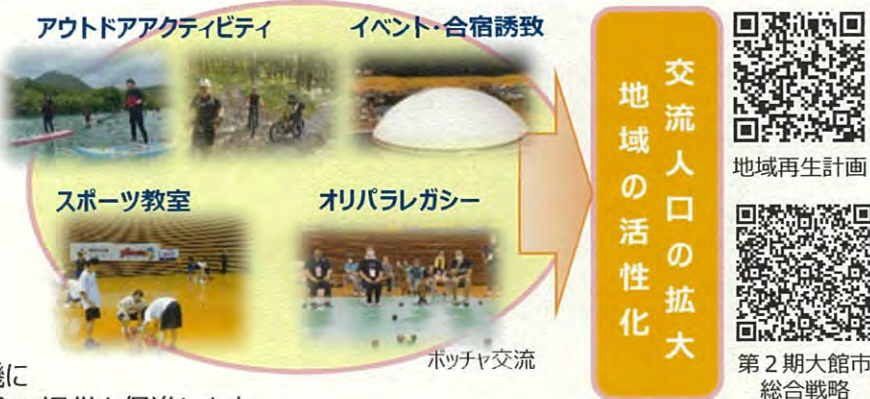
全国・東北規模大会の誘致活動を行い、宿泊や
飲食の経済効果による地域活性化を目指します。

■スポーツ教室・交流イベントの開催

スポーツ実施率の向上とスポーツイベントを通じた
継続的な交流人口の拡大を目指します。

■東京オリパラ競技大会レガシーの取組

タイ王国のホストタウン(ポッチャ)の事前受入を契機に
障害やパラスポーツの理解・支援体制の構築、機会の提供を促進します。

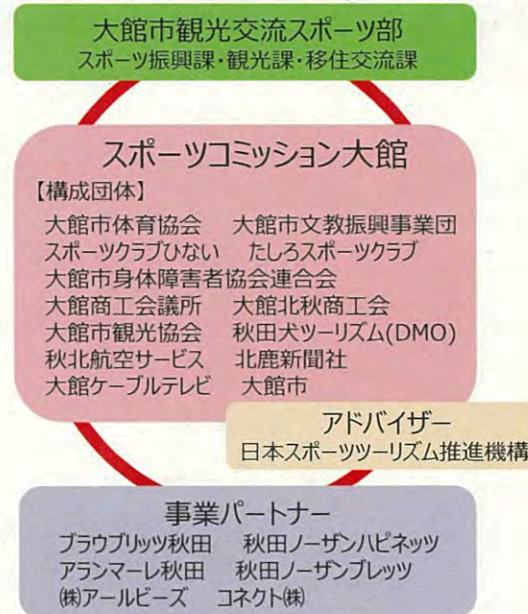


地域再生計画



第2期大館市
総合戦略

<継続的な取組を確保できる体制(図)>



各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先
市長事務部局 観光交流スポーツ部
- 地方スポーツ推進計画
大館市スポーツ推進計画 平成30年4月
- 地方版総合戦略
第2期大館市総合戦略 令和2年3月
- 地域スポーツコミッション
スポーツコミッション大館 令和3年3月設立
- ホストタウンの相手先
タイ王国



大館市HP



スポーツ
コミッション大館

7 スポーツ合宿等による地域活性化、健康と生きがいをつくる生涯スポーツの推進

【問合せ先】TEL.0234-43-0183
山形県庄内町教育委員会社会教育課

<目標分野> ※該当するものに全て✓

<目標内容>

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化 ✓
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防 ✓
- ③ 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換

地域の公民館を旅館業法上の宿泊可能な施設に改修し、各種スポーツ団体の合宿や本町を会場に開催されるスポーツ等の大会やイベントに参加する団体等の宿泊を受け入れ、地域の活性化を図るとともに、住民の健康と生きがいをつくる。

【具体目標】 観光施設等入込数の増加（約24万人、計105万人を目指す）

八幡スポーツ公園大会参加者数の増加（約2,500人の増加を目指す）

<PRポイント>

- 【地域の賑わいの創出】 県内外からの宿泊客の増加による交流及び滞在人口の増加
- 【経済効果】 町内の飲食店や道の駅、観光施設等への経済効果の促進
- 【生涯学習と健康づくり】 八幡スポーツ公園等の体育施設での各種大会の開催により、スポーツを通じた町民の生涯学習の充実と健康増進などの波及効果



↑ 余目第四公民館

<概要> 計画期間：～令和4年3月31日

<現状・課題>

- 本町の体育施設は21ヶ所あり、特に八幡スポーツ公園は屋内外の人工芝施設もあり、大会等の県内外からの利用は多くあるものの、本町に宿泊施設が少ないため、町外に宿泊してしまい、本町に滞在しない傾向にある。
- 本町の高齢化率も高く、介護認定者数、介護予防サービス利用者数は増加する見込みであり、町民の健康づくりが重要となっている。

<総合的な取組内容>

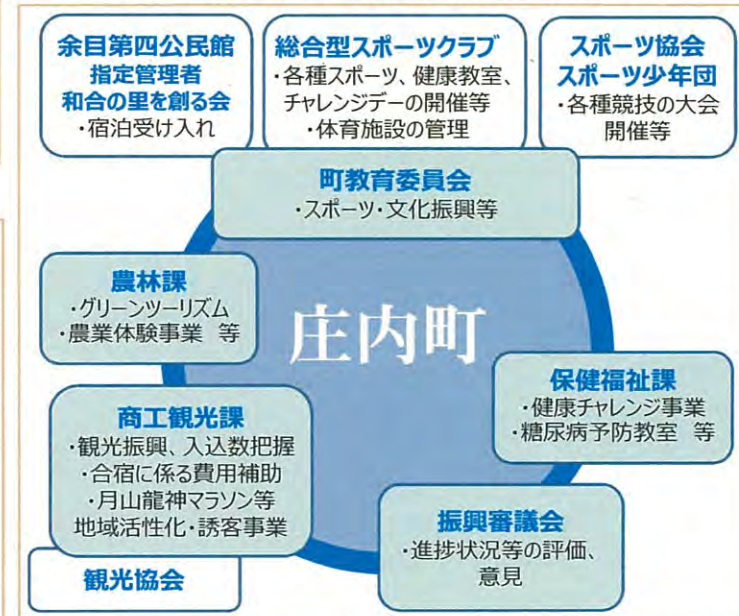
豊かな自然・人や施設を活かした、地域の賑わいの創出と、健康と生きがいをつくる生涯スポーツの推進

【具体的事業等】

- 庄内町余目第四公民館を改修（旅館業の許可）
 - ※ 地方創生拠点整備交付金を活用し改修
 - スポーツ等の合宿や大会参加のための宿泊受け入れ
- 県内外からの誘客イベントの開催
月山龍神マラソンなど
- 合宿に係る費用を一部補助
庄内町スポーツ文化合宿支援事業費補助金の交付
- チャレンジデーへの参加（笹川スポーツ財団主催）
多くの町民の参加により、健康づくりや地域活性化、スポーツを通じたまちづくりを図る



<継続的な取組を確保できる体制（図）>



各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：教育委員会社会教育課
- 地方スポーツ推進計画：なし（現時点では教育振興基本計画に包括）
- 地方版総合戦略：庄内町まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 地域スポーツコミッション：なし
- ホストタウンの相手先：なし
- 庄内町余目第四公民館指定管理者 和合の里を創る会
- 地域総合型スポーツクラブ（一社）コメちわわわくらぶ



8 笠間市スケートボードの聖地プロジェクト



【問合せ先・電話番号】 TEL 0296-77-1101

〔茨城県〕 笠間市教育委員会教育部スポーツ振興課

<目標分野> ※該当するものに

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換

<目標内容>

世界レベルのスケートパークを活用して「スケートボードの聖地」へ

- 目標 1 : スケートボードにおいて、国内トップクラスの地域イメージ・地域ブランドを確立
- 目標 2 : 地域経済への波及効果の高いスケートボード大会やイベントの実現
- 目標 3 : 取り組みを通じて得た経験やノウハウにより、ゴルフや障がい者スポーツなどへの展開を図る

パーク利用者
20,000人/年



<PRポイント>

【ムラサキパークかさま】スケートパークを活用した地域ブランドの確立と大会・イベントの誘致

- ◆初心者から上級者まで楽しめるセクション構成 ◆雨でも利用可能な広々屋内ゾーン
- ◆観覧しやすいスタジアム形式のロケーション ◆豊富なレンタルで手ぶらで来場OK ◆夜間照明も充実

【地域資源との連携】笠間の持つ個性的で魅力的な地域資源と連携し、交流人口を拡大

- ◎陶芸体験（かさましこ日本遺産） ◎笠間稲荷神社 ◎道の駅かさま（栗をはじめとした特産品） など



<概要> 計画期間：～令和6年3月31日

<現状・課題>

- ・少子高齢化、人口減少の社会背景の下、持続可能な地域活力の維持のためには、交流人口の増加が欠かせない。
- ・市内観光は宿泊客の割合が低いことや、イベント中心の観光誘客であり季節変動が大きいことなどの課題を有している。
- ・主要な観光資源として笠間焼をはじめとする伝統・文化にかかわるものが多いため、若年層への訴求力が低い。

<総合的な取組内容>

笠間市ひと・まち・もの創生推進計画に掲げる

「将来にわたって活力ある笠間市をつくる」の実現に向けて取り組む
⇒ 企業版ふるさと納税等を活用

①大会・イベント開催

「プロ向け」のハイレベルな大会、「ジュニア向け」のキャンプ（合宿）など、ターゲットの異なる大会・イベント開催により、地域への効果を検証

②スポーツツーリズム

スケートボードと地域資源を掛け合わせたモニターツアーなどを通じ、アーバンスポーツツーリズムの可能性を調査検証

③持続可能性向上の取り組み

市内学校（小中高）との連携強化、競技の裾野拡大
スポーツコミッションの機能強化
スポーツボランティアの組織・育成



<継続的な取組を確保できる体制（図）>



活動を担う人材確保：
・地域おこし協力隊 ・地域活性化起業人

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：
教育委員会 教育部 スポーツ振興課
- 地方スポーツ推進計画：
笠間市スポーツ推進計画（平成30年3月）
- 地方版総合戦略：
笠間市ひと・まち・もの創生推進計画（令和2年3月）
- 地域スポーツコミッション：
笠間スポーツコミッション（令和3年3月発足）
- ホストタウンの相手先：フランス・アメリカ（スケートボード）
エチオピア（陸上）台湾・タイ（ゴルフ）



笠間市公式HP

【フォローアップ欄】 令和4年度以降における計画の進捗状況

9 廃校への自転車拠点・ジオパーク中核拠点整備による地域振興プロジェクト

【問合せ先・電話番号】 TEL : 029-883-1111
茨城県つくば市都市計画部サイクルコミュニティ推進室

<目標分野> ※該当するものに全て印

<目標内容>

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

- 『自転車』と『筑波山ジオパーク』をテーマに、廃校整備（ハード）とレンタサイクル事業等（ソフト）を効果的に組み合わせ、
- 回遊性向上・人流創出：「旧筑波町エリア」を中心としたつくば市全体、さらに、近隣自治体を含む広域での人流創出！
【数値目標：令和7年度の拠点来場者数16,000人】
 - 健康増進：自転車拠点をトリガーとして『自転車』利用を強力に推進することで、市民の健康増進！

<PRポイント>

- ①【廃校 × 自転車 × ジオパーク】廃校リノベーションによる交流人口の拡大→地域振興を実現！
- ②【ナショナルサイクルートの高付加価値化】隣接する「つくば霞ヶ浦りんりんロード」来訪者の利便性向上！
- ③【弱虫ペダルサイクリングチームと協働】弱虫ペダルのネームバリューによる集客効果向上！
(令和3年7月6日につくば市と弱虫ペダルサイクリングチームとの連携協定を締結)

<概要> 計画期間：～令和8年3月31日（令和5年度中にOPEN予定）

<現状・課題>

- つくば市の中心エリアでは人口が増加しているが、周辺エリアである「旧筑波町エリア」では人口減少と高齢化が進行しており、公共サービスや社会経済の維持等の持続可能な地域社会の継続が危惧される状況
- 自転車とジオパークにとって好立地に廃校が存在（「つくば霞ヶ浦りんりんロード」から約200m、筑波山から約2km）

<総合的な取組内容>

地域振興の拠点化！

岩瀬駅と土浦駅の間地点に自転車拠点を整備することでサイクリストの利便性向上



ジオパーク中核拠点



サイクリング、BMX、登山等、多様な目的を持った来訪者を、地域資源である『筑波山ジオパーク』やその他の市内観光、飲食等へと誘導！

<継続的な取組を確保できる体制（図）>

旧筑波東中学校(廃校) ※地域振興の拠点

自転車拠点
(つくば市都市計画部サイクルコミュニティ推進室)

つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会
(茨城県・土浦市・石岡市・鹿嶋市・潮来市・稲敷市・かすみがうら市・桜川市・神栖市・行方市・鉾田市・小美玉市・美浦村・阿見町)

⇒市町村域を跨いだ広域レンタサイクルやツアー実施等

弱虫ペダルサイクリングチーム

⇒BMXレーシングコースの管理や自転車の点検・修理等

ジオパーク中核拠点
(つくば市経済部ジオパーク室)

筑波山地域ジオパーク推進協議会
(石岡市・笠間市・桜川市・土浦市・かすみがうら市)

⇒各自治体のジオパーク拠点を結ぶバスツアーの実施等

認定ジオガイド

⇒ジオパーク中核拠点の案内やツアーガイドの実施等

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先
市民部スポーツ振興課(市長事務部局)
- 地方スポーツ推進計画
つくば市スポーツ推進計画(平成31年2月策定)
- 地方版総合戦略
第2期つくば市戦略プラン(令和2年3月策定)
- 地域スポーツコミッション：無
- ホストタウンの相手先：スイス連邦
- その他
SDGs未来都市(平成30年選定)
つくば市自転車安全利用促進計画(平成27年4月策定)



弱虫ペダル
サイクリングチームと
連携協定締結

【フォローアップ欄】令和4年度以降における計画の進捗状況

<目標分野> ※該当するものに全て印
 ☑ ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
 ☑ ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病氣予防
 ☑ ③ 自然と体を動かして楽しむ「楽しいまち」への転換

<目標内容> スポーツを軸にした持続可能な交流人口拡大・健康まちづくりの実現
【具体的目標】
 ① 交流人口の拡大 <交流人口：約70万人（令和元年）→ 約200万人（令和6年）>
 ② 移住・定住の促進 <社会増減数：40人（令和元年）→ 300人（累積、令和2年～令和6年）>
 ③ 健康促進 <スポーツ施設利用者等数：約8万人（平成30年）→ 約9万人（令和6年）>

<PRポイント>

- **オリンピック基準の施設や世界大会の開催が可能な施設など高水準の各種スポーツ施設の整備**
 2020東京五輪を機に、オリンピック基準のホッケー場及びテニスコートを整備した他、2024パリ五輪に向け競技人口が増加している、BMXやスケートボード等のアーバンスポーツが実施可能な世界レベルのアーバンスポーツパーク等、高水準で各々の競技レベルの向上にチャレンジできる環境を整備。
- **世界レベルのアーバンスポーツパーク整備による新たな世代のアスリート創出**
 2020東京五輪から正式種目となり、若手選手の活躍が目覚ましいBMXフリースタイルやスケートボード等が行える世界レベルの施設を整備したことにより、世界的大会を開催できトップアスリートの育成や競技人口の増加につながる場を提供。技量を磨きたい若い世代の競技者を抱える世帯の移住・定住施策にも繋がる。
- **健康促進を目的としたトレーニングジムの整備**
 老若男女問わず健康を促進するため、人気の有酸素運動マシンをはじめ、各種多様な器具・マシンを揃えた本格的なトレーニングを行えるジムを整備。

<概要> 計画期間：～令和7年3月31日

【現状・課題】

町の魅力を向上し、交流人口の拡大に繋げるべく、これまで、観光拠点である「道の駅さかい」に**世界的建築家である隈研吾氏が設計した「さかい河岸レストラン 茶蔵」**等を整備した他、同氏設計の建築物を計6施設整備するなど、**観光コンテンツの造成や開発に努めている。**

現在、核となる観光コンテンツの一つとして、**当町においての夏の風物詩である「利根川大花火大会」**がある。年に一度開催される本大会は、2019年（令和元年）には全国5位の2万3,000発を打ち上げ、総観覧者数約25万人を誇る一大イベントとなっているが、**多くの方が日帰り来訪者である。**

そのため、**通年来訪していただき、「街なかへの回遊」及び「滞在時間の増加による宿泊」や「消費額の向上」**に結び付けていく**新たなコンテンツ**が必要であり、かつ、**移住定住者の確保及び住民の健康促進等**にも繋げるべく、「**スポーツを活用したまちづくり**」を推進していく。



茨城県境町の歴史



道の駅さかい公式HP



境町観光協会公式HP



境町で開催される「利根川大花火大会」の様子



隈研吾氏が設計した「さかい河岸レストラン 茶蔵」（左）と「モンテネグロ会館」（右）

【総合的な取組内容】

- 世界大会をはじめとした各種スポーツ大会・合宿等の誘致
- 健康づくりのための各スポーツ施設及びトレーニングジムの利用促進
- スポーツ施設と隈研吾氏設計建築物を軸としたツーリズムの促進



<継続的な取組を確保できる体制(図)>

町・DMO・各施設の指定管理事業者が連携し、スポーツ大会や合宿等の誘致等事業を推進

町
 (スポーツ・健康推進・観光等の関係部門含む)
 ・全体取りまとめ
 ・受入れ整備(主にハード面)
 ・スポーツ大会や合宿時における関係各所との各種調整等

DMO
 ((株)さかいまちづくり公社)
 ・スポーツツーリズム等の観光コンテンツ開発
 ・多様な関係者との連携調整等

指定管理事業者
 ・受入れ整備(主にソフト面)
 ・イベント等企画等

外部アドバイザーとの連携

境町戦略会議委員
 (国・大学・民間企業等のメンバーで構成)
 ・町が実施する事業について指導・助言等を行う

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：企画部地方創生課 教育委員会生涯学習課
- 地方スポーツ推進計画：なし
- 地方版総合戦略：第六次境町総合計画(令和元年3月改訂)
- 地域スポーツコミッション：なし
- ホストタウンの相手先：アルゼンチン共和国
- その他：境町まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年3月改訂)



第六次境町総合計画(令和元年3月改訂)



境町まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年3月改訂)

【フォローアップ欄】令和4年度以降における計画の進捗状況